

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成27年2月10日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ オオザキブンカレキシホゾンカイ

団体名 大崎文化歴史保存会

所在地 岡山市北区大崎625

連絡先 086-287-7050

フリガナ イタノ タダシ

代表者氏名 板野 督

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	「市民健康づくり」散策コース・マップ等作成
事業実施区域(小学校区)	庄内小学校区
事業実施回数	<input checked="" type="radio"/> 新規 ・ 継続 回目 (年度から)
事業の目的	大崎地区は、古墳時代後期より栄え、奈良時代の「大崎廃寺跡」、さらに戦国時代の「文英石仏」(最大級の延命地藏)など歴史遺産が豊富である。 江戸時代末期には、大崎村の初代有松万助が、40数個の古墳群の石室などを利用した「遍路道」を開拓した。これら数多くの歴史遺産が大崎地区の若い世代に伝わっていないし、近隣地区では、そのような歴史を知らない世代が過半数を超えてきた。今、保存や広報活動をしなければ、200年近く続いてきた「遍路道」が消えてしまう恐れがある。そこで、これから突入していく高齢化社会において、多くの人々の持つ「健康への不安」の解消のために、遍路道を「岡山市民の健康づくり」に貢献する「身近な散策コース」として甦らす。

<p>事業の必要性</p>	<p>過去において、先人たちが「大正8年の開山100年祭」を実施しており、そのころには、岡山市内外から多くの参拝者があった。2020年には、大崎八十八か所「開山200年祭」を計画しており、その実現のためにも多くの市民の協力・支援を求めたい。</p> <p>遍路道を「市民健康づくり」のための散策コース（1周 2Km、約2時間）として整備し、岡山市民の健康づくりに役立てる。遍路道の清掃活動は毎年、大崎文化歴史保存会が実施している。</p> <p>遍路道を散策コースとして復活させ、清掃活動や順路案内板は保存会の自作で対応することが可能であるが、より広い地域への広報活動のための「大崎古墳群めぐり散策コース」パンフレットを作成・配布するためにご支援いただきたい。</p>
<p>事業の内容</p>	<p>昭和10年編纂の「吉備郡史」に、古墳等を利用し、それぞれの歴史的価値も大きく「保存に値する歴史遺産」と記載されており、「岡山市民健康づくり」のための散策コースの入り口には、我々保存会の力で、歴史遺産を説明する案内板、そして、道順を明示する順路案内板設置。さらに、知足院跡や、磨崖仏には説明案内板を設置する予定である。まず、案内板設置の材料など必要である。次に、広く広報するために、高松公民館との共催により、年2回程度「散策コース」を歩く会（うち1回は、小学校3年～中学生を対象）を開催する。</p> <p>以上の事業を実現するために、「散策コース・マップ」を作り、1000部印刷する。</p> <p>このマップを活用しながら、毎年「散策コース」を充実させ、2020年の「開山200年祭」には、大きなイベントを実施したい。</p>
<p>期待される成果</p>	<p>自然環境の良い大崎地区を広く知ってもらい、岡山市内にある貴重な文化財に接し、かつては、造山古墳に見られるように、岡山の地（高松地区）は「日本の中心のひとつ」であったという誇りの気持ちを後世に引き継ぎたい。</p> <p>1周で2Km、歩いて約2時間という散策コースを活用することにより、岡山市民の健康づくりが増進される。</p>
<p>企画などの工夫</p>	<p>今までに、高松公民館との共催で「古墳めぐり」散策を実施したことがあり、また、大崎廃寺跡～文英石仏コースは、すでに多くの人々に親しまれているので、その中に「健康づくり」散策コース」を合流させたい。</p> <p>大崎町内会の会員には、大崎文化歴史保存会の広報誌、「学習会の案内」及び、「清掃ボランティア活動」などのお知らせは全戸配布している。そして、「田んぼの学校」のお知らせは、高松公民館のご尽力で、高松中学校区の保幼小中の全ての子どもたちに案内している。</p>

事業の 情報公開	大崎文化歴史保存会の活動を紹介するホームページの作成については、以前より、その考えを持っている。現在までは、高松公民館の広報誌活用や公民館内に、保存会の活動を掲示していただいている。ホームページを開き、全国の「八十八か所巡り」をもつ地域の方々と交流したいという夢を持っている。
次年度以降の 予定	散策コースを利用する人々を少しずつ増やしながら、2020年オリンピックの年には、開山200年祭を実施したい。 そのために、散策コース・パンフレットを利用し、毎年2回、「散策コース」を歩く会を開催し、高松地区に限らず、多くの人々の参加を促したい。
その他PR したい点	庄内小学校区の一つの町内の有志の活動として始まった「大崎文化歴史保存会の活動」ではあるが、大正時代から戦前にかけては、岡山市内外からのお参りもあり、かなり栄えた実績をもつ。そのため、保存会への参加は、高松地区に限ることはない。

